

安保法制 夏までには成立

統幕長、米に昨年未説明

共産、資料示す

安全保障関連法案を審議する参院特別委員会は2日、一般質疑を行った。共産党は防衛省の内部資料として、河野克俊統合幕僚長が昨年12月に訪米した際の米軍幹部との会談記録とされる文書を提示。その中で河野氏が安保法制は夏までに終わる見通しを伝えていたことを指摘した。政府は文書の内容を確認した上で今後回答するとした。

防総省で米軍幹部らと会談。河野氏は米陸軍参謀総長との会談で「(12月)14日に衆院選があり、与党が圧勝した」と説明。新しい日米ガイドライン(日米防衛協力のための指針)や安保法制の進み具合を問われ、河野氏は「与党の勝利により来年夏までには終了する」とも述べていた。

また河野氏は米国防副長官との会談で、日本の防衛予算は「今後も増える傾向にある」と語った。新型輸

送機オスプレイ導入への国民感情については「不安定性をおおるのは一部の活動家だけだ」とも述べたという。これに対し、中谷元・防衛相は河野氏が昨年12月の訪米時に、文書にある米軍幹部らと会談したことは認めしたが、「資料が確認できていないので言及は控える」と答弁。統合幕僚監部の報道担当は朝日新聞の取材に「資料の確認ができていないので、コメントは差し控える」と述べた。

同党の仁比聡平氏が示した文書によると、昨年12月17〜18日に河野氏が米国防副長官との会談で、日本の防衛予算は「今後も増える傾向にある」と語った。新型輸

送機オスプレイ導入への国民感情については「不安定性をおおるのは一部の活動家だけだ」とも述べたという。これに対し、中谷元・防衛相は河野氏が昨年12月の訪米時に、文書にある米軍幹部らと会談したことは認めしたが、「資料が確認できていないので言及は控える」と答弁。統合幕僚監部の報道担当は朝日新聞の取材に「資料の確認ができていないので、コメントは差し控える」と述べた。

これに対し、中谷元・防衛相は河野氏が昨年12月の訪米時に、文書にある米軍幹部らと会談したことは認めしたが、「資料が確認できていないので言及は控える」と答弁。統合幕僚監部の報道担当は朝日新聞の取材に「資料の確認ができていないので、コメントは差し控える」と述べた。

対米協力深化／オスプレイ不安全性あおるのは一部

安保法制	河野統幕長： 集団的自衛権の行使が可能となった場合は米軍と自衛隊との協力関係はより深化する
	米陸軍参謀総長： 安保法制で何か問題はあるか？ 河野氏： (衆院選での)与党の勝利により来年夏までには終了すると考えている
防衛予算	米国防副長官： 自衛隊の予算的な制約はあるか？ 河野氏： これまでの10年間防衛予算は減少傾向にあったが、安倍政権になって増加傾向にある。中国の活動が活発化していることを踏まえると今後も増える傾向にあると考える
	米国防副長官： オスプレイは初期の事故により不公平な評価を受け残念だ 河野氏： オスプレイの不安全性をあおるのは一部の活動家だけだ
米軍基地	米国防副長官： 在韓米軍基地、岩国基地、普天間代替施設、グアム移転問題の予算は100%確保されており、計画通りに進捗(しんちよく)する
	河野氏： 沖縄知事選では普天間移設反対の候補者が当選した。普天間移設問題は地方の問題ではなく国の問題で、安倍政権として立場を変えないものと認識している

共産党が示した文書での河野克俊統合幕僚長と米軍幹部らとの主なやりとり